

主なエアラインの成田空港における戦略等 について



(1) 目的

- エアラインの今後の就航動向を把握して、今後の戦略会議での施策検討に活かす。
- 成田空港就航についてエアラインが課題と考える点を探り、今後の戦略会議での施策検討に活かす。

(2) 調査対象

- LCC(ローコストキャリア)

エアアジア・ジャパン(株)、ジェットスター・ジャパン(株)、スカイマーク(株)、ピーチアビエーション(株)

・注:スカイマークはLCCではなく、LFC(ローフェアキャリア=運賃が安い航空会社)という
自社認識あり

- FSC(フルサービスキャリア)

日本航空、全日本空輸、キャセイパシフィック航空、シンガポール航空

(3) ヒアリング項目

- 就航路線(共通)
- 今後の就航予定(共通)
- 路線選定の理由(LCCのみ)
- ターゲット顧客層(LCCのみ)
- 成田活用方針(FSCのみ)
- 成田発着で可能性のある増便・路線新設(FSCのみ)
- 成田空港就航にあたって改善を望む点(共通)

各社の就航計画等(LCC)

	エアアジア・ジャパン	ジェットスター・ジャパン	スカイマーク	ピーチ・アビエーション
就航路線	未就航	未就航	平成23年12月現在、国内21路線を展開	未就航
今後の就航予定	<p>【国内線】 平成24年8月から成田空港を起点に札幌(新千歳)、福岡、沖縄(那覇)の3路線に就航予定</p> <p>【国際線】 同年10月より成田とソウル(仁川)、釜山を結ぶ路線への就航を予定</p>	<p>【国内線】 平成24年8月から成田空港を起点に札幌(新千歳)、福岡、沖縄(那覇)の3路線に就航予定</p> <p>【国際線】 平成24年中(国内線就航後)に保有機材(A320)で運航可能な近距離路線に就航予定</p>	<p>【国内線】 平成24年2月1日から成田＝福岡、3月7日から神戸路線を開設。平成24年度中に仙台線も開設予定。成田を中心とした路線展開について、上記に加え、函館、出雲、高松、徳島、石垣を計画</p> <p>【国際線】 平成26年から29年にかけて、成田＝フランクフルト、ロンドン、ニューヨーク等への路線展開を計画</p>	<p>【国内線】 平成24年3月1日から関西空港を起点に札幌(新千歳)、福岡の2路線に就航予定。3月25日に関西＝長崎、4月1日に関西＝鹿児島線を開設。平成24年度に関西＝沖縄を開設</p> <p>【国際線】 平成24年5月から関西＝ソウル(仁川)線に就航予定。平成24年度に香港、台湾線を開設</p>
路線選定の理由	需要の太い路線からスタート	高重要の大都市間路線からスタート	既存需要の取り込みと新規需要の創造	関西とアジアにフォーカス
ターゲット顧客層	幅広い客層の取り込み。 「提供する安価な運賃とサービスに共感してくれるすべての人たちに利用してもらいたい」	レジャー客を主なターゲットとしており、ビジネス需要はターゲットとしていない。	成田空港には千葉県を中心とした大きなマーケットがあり、国内線について「首都圏第2空港」としてのポテンシャルを持っていると認識。	人口2,000万人、GDP80兆円を持つ関西空港の後背圏の近畿6府県

各社の就航計画等(FSC)

	全日本空輸	日本航空	キャセイ・パシフィック	シンガポール航空
就航路線	【国内線】 成田＝8路線 17便/日 羽田＝40路線242便/日 【国際線】 成田＝44路線81便/日 羽田＝11路線12便/日	【国内線】 成田＝5路線 13便/日 羽田＝33路線192便/日 【国際線】 成田＝38路線69便/日 羽田＝10路線21便/日	●成田＝香港:5便/日 台北経由香港:1便/日 ●羽田＝香港:2便/日	●成田＝シンガポール: 2便/日 成田＝ロサンゼルス: 1便/日 ●羽田＝シンガポール: 2便/日
今後の就航予定	【国内線】 成田＝新潟:1便/日(平成24年3月25日)、羽田＝岩国:4便/日(平成24年下期) 【国際線】 成田＝シアトル(平成24年下期、便数は調整中)、羽田＝北京及び上海路線で増便(1便→2便/日)を予定	【国際線】 成田＝ボストン:4便/週(平成24年4月22日)(※6月1日から7便/週)	いくつかの案を検討中	現在のところ予定はない
成田活用方針	成田からの国際線ネットワークのメリットを活用。週560便以上のANA国際線ネットワークとの接続(国際線＝国際線)、海外発・海外行きの経由地として、アジア地域へのゲートウェイの役割	ワンワールドアライアンスでの提携を更に深化することで、アジア＝欧米を結ぶ乗継需要に対応に対応し、「グローバルハブ」としてのネットワークを構築成田羽田両空港による「デュアルハブ」を最大限活用	平成26年拡張後の羽田の再拡張が望めない以上、国際線に占める成田の重要性は今後も変わらない	成田＝ロサンゼルス線にA380を投入。北太平洋にA380を投入する場合、経由地を香港や他の都市を選択できたが、日本を最重要市場と位置付けていることから、成田を選択
成田発着で可能性のある増便・路線新設	サンノゼ(米カリフォルニア州北部):就航時期・便数は調整中	北米＝シンガポールの乗継需要に対応するため、10月28日からシンガポール線増便(1便→2便/日)	成田発で既存の香港・台北以外の路線計画はない	増便・新規路線の可能性はあるが、日本＝シンガポール間のオープンスカイ協定締結と日本からの以遠権枠の確保が必要

(1) 空港機能の強化

- 運航要望の多い時間帯における発着枠の拡大
- ハブ機能の維持・強化(際＝際、内＝際乗り継ぎ機能(羽田へのアクセス強化を含む))
- 旅客動線やセルフサービスの促進を見据えたフロア整備、出入国手続きの簡素化を促すためのCIQ(税関・入管・検疫)との協力体制の構築
- 空港の利用時間の拡大

(2) 財政的な支援

- 公租公課負担の軽減
- 空港関連施設賃料等の低減や支援
- 空港需要の増加に向けた各地域・自治体の積極的な関与

(3) アクセスの改善

- 朝晩の時間帯における公共交通機関の空港アクセスの改善
- バスによるアクセス利便性の改善。補助ということではなく、事業者の参入を増やすことによる競争原理に基づいた運賃設定を希望
- 空港に入る際のセキュリティーの簡素化

【参考】 エアラインの概要(LCC)

	エアアジア・ジャパン 	ジェットスター・ジャパン 	スカイマーク 	ピーチアビエーション 
設 立	平成23年8月31日	平成23年9月5日	平成8年11月12日	平成23年2月10日
本社所在地	東京都港区東新橋	東京都港区虎ノ門	東京都大田区羽田空港	大阪府泉佐野市泉州
資本金	1,000万円(運航開始時までに50億円に増額予定)	48億円(運航開始後120億円に増額予定)	約141億円(H23.12.8現在)	75億1,505万円(H23.11.30現在)
主要株主	全日本空輸(株) エアアジア	日本航空 カンタス航空 三菱商事	西久保慎一 エイチ・アイ・エス	全日本空輸 ファーストイースタン・インベストメント 産業革新機構
機 材	A320×3機(5年以内に25機体制を予定) A330をH25年に導入予定	A320×3機(5年以内に24機体制を予定)	B737-800×22機(H23年度末に25機) A380×6機(H26年から導入予定)	A320×2機(8機発注中)
拠点空港	成田空港	成田・関西(予定)	羽田、神戸空港	関西空港
事業内容	国内定期運送(H24年8月開始予定) 国際定期運送(H24年10月開始予定)	国内定期運送(H24年8月開始予定) 国際定期運送(H24年中の開始予定)	国内定期運送(H10年9月運航開始) 国際定期チャーター(H15年3月開始・現在運休中)	国内定期運送(H24年3月運航開始) 国際定期運送(H24年5月開始予定)
その他	全日空の出資比率は67%で、連結子会社としており、全日空との連携調整が可能	「最低価格保証」を日本にも導入する計画を発表	国内線航空会社の第3勢力にまで成長	

【参考】 エアラインの概要(FSC)

	日本航空 	全日本空輸 	キャセイ・パシフィック 	シンガポール航空 
設立	昭和28年10月1日	昭和27年12月27日	1946年(昭和21年)	1947年(昭和22年)
本社所在地	東京都品川区東品川	東京都港区東新橋	香港	シンガポール
資本金	1,750億円 (H21.12時点)	約2,314億円 (H23.3. 31現在)	7億8,700万香港ドル	16億8,480シンガポールドル
主要株主	企業再生支援機構	名古屋鉄道 日本トラスティサービス信託銀行 日本マイスタートラスト信託銀行	Swire Pacific Ltd CITIC Pacific Ltd Air China Ltd	Temasek Holdings Ltd DBS Nominees Pte Ltd Citibank Nominees Singapore Pte Ltd
機材	123機(H24.1現在) (B767,B777,B737,MD90等)	222機(H24.1現在) (B747,B777,B767,B737,A320等)	129機(H24.1現在) (A330,A340,B747,B777等)	103機(H24.1現在) (A380,B747,B777等)
主要拠点空港	成田、羽田空港	羽田、成田、那覇	香港国際空港	シンガポール・チャンギ空港
事業内容	国内定期運送(昭和27年10月20日免許取得) 国際定期運送(昭和28年8月14日免許取得)	国内定期運送(昭和28年10月15日免許取得) 国際定期運送(昭和61年1月31日免許取得)	日本への就航は、1959年7月から開始 現在、成田、羽田、新千歳、中部、関西、福岡、沖縄に就航	成田には、1980年12月にシンガポール＝成田＝ロサンゼルス便開設 現在、成田、羽田、中部、関西、福岡に就航
その他	ワンワールドに加盟 2012年秋の再上場を目指している	スターアライアンスに加盟	ワンワールドに加盟	スターアライアンスに加盟